

監査報告書

令和4年5月26日

社会福祉法人 諒和会
理事長 藤井 淑人 殿

監事 吉田 精悟
監事 水野 ひろみ

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、必要に応じて随時法人の事業所を訪問し、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討しました。さらに、法人外部監査人の協力も得て、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該関係年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討しました。

1、監査の結果

1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません

2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3) 監査結果における意見

厳しい現下の影響により減収したものの補助金等や保険の活用により対応策が講じられている。

今後も社会情勢による光熱費の上昇、処遇改善などの課題が想定されるので、より綿密な資金計画をして自立的経営を確保する必要性を感じるものである。

以上